

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年04月11日

計画の名称	沼津市における安全・安心で快適な住環境の確保（地域住宅計画）（重点計画）												
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	沼津市												
計画の目標	本市は、全国的な傾向と同様に、人口減少、少子高齢化が進行しており、住宅ストックの有効活用が重要事項となっている。このため、ユニバーサルデザイン化された市営住宅を供給することで住宅セーフティネットの機能向上を図り、もって誰もが安心して暮らせる住環境の確保を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,701	A	1,677	B	0	C	24	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	1.41	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初	R7末	R9末
1	少子高齢社会へ対応し、市民の誰もが安心して暮らせる住環境を推進する。 事業実施状況をもとにユニバーサルデザイン化された今沢団地（計画期間中に建替整備される棟に限る）の割合を算出する。 （ユニバーサルデザイン化された今沢団地（計画期間中に建替整備される棟に限る）の割合）＝（計画期間中に建替整備された今沢団地のうち、ユニバーサルデザイン化された住戸数）／（計画期間中に建替整備された今沢団地の住戸数）	0%	%	100%
2	少子高齢社会へ対応し、市民の誰もが安心して暮らせる住環境を推進する。 事業実施状況をもとにエレベータが設置された今沢団地（計画期間中に建替整備される棟に限る）の割合を算出する。 （エレベータが設置された今沢団地（計画期間中に建替整備される棟に限る）の割合）＝（計画期間中に建替整備された今沢団地のうち、エレベータが設置された棟数）／（計画期間中に建替整備された今沢団地の棟数）	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R05	R06	R07	R08	R09				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	沼津市	直接	沼津市	-	-	公営住宅等整備事業(今 沢団地)	PFI手法による公営住宅等の 建替整備	沼津市						1,677		策定済	
												小計						1,677		
											合計						1,677			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												R05	R06	R07	R08	R09					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
地域住宅計画に基づく事業	C15-001	住宅	一般	沼津市	直接	沼津市	-	-	公営住宅等整備関連事業 （今沢団地）	公営住宅等の建替整備に伴う 関連事業（駐車場等整備費、 公営住宅等の建替に伴う移転 費）	沼津市						24	-			
		公営住宅等整備事業と一体的に実施することで、良好な住環境の整備の推進が期待される。																			
													小計						24		
											合計							24			

事前評価チェックシート

計画の名称： 沼津市における安全・安心で快適な住環境の確保（地域住宅計画）（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 関連する各種計画（住生活基本計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の実施に当たり、福祉施策等との連携が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の実施に当たり、民間活力の活用が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	○
II. 計画の効果・効率性 地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
II. 計画の効果・効率性 地域再生計画に地域住宅交付金の活用についての記載をしており、内閣総理大臣の評価を受けている。	○
III. 計画の実現可能性 事業熟度が十分である。	○

